

January 6, 2021

【前日の為替概況】NY株高・原油高でドル安、対円 102.61 円、対ユーロ 1.2306 ドル

5日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは続伸。終値は1.2298ドルと前営業日NY終値(1.2248ドル)と比べて0.0050ドル程度のユーロ高水準。「ドイツは新型コロナウイルス感染拡大抑制のための全土ロックダウン期間を月末まで延長する方針」との報道が伝わると、ユーロ売り・ドル買いが先行。メルケル独首相が正式に規制強化すると発表すると、一時1.2254ドル付近まで下押しした。

ただ、米国株相場が底堅く推移するとリスク・オンのドル売りが優勢に。原油先物価格の大幅反発を背景に、対産油国通貨中心にドル安が進んだ影響も受けて一時1.2306ドルと日通し高値を更新した。もっとも、昨年12月31日と前日に付けた高値1.2309ドルや、12月30日に付けた2018年4月以来の高値1.2310ドルがレジスタンスとして意識されると若干伸び悩んだ。

ドル円は続落。終値は102.72円と前営業日NY終値(103.13円)と比べて41銭程度のドル安水準。米上院の主導権獲得を懸けたジョージア州決選投票の結果を見極めたいとのムードが広がる中、しばらくはもみ合いの展開が続いていたが、米国株が底堅く推移し、原油先物価格が急伸するとドル売りが優勢となった。円に対してもドル安が進行し、一時102.61円と昨年3月10日以来約10カ月ぶりの安値を付けた。

12月米ISM製造業景気指数が60.7と予想の56.5を上回ったことが分かると買い戻しが強まる場面もあったが、反応は一時的だった。

ユーロ円は小反落。終値は126.29円と前営業日NY終値(126.32円)と比べて3銭程度のユーロ安水準。ドイツがロックダウン延長を決めると126.05円と日通し安値を更新したものの、ユーロドルが上昇すると下げ渋った。

カナダドルは堅調だった。WTI原油先物価格が昨年2月以来の高値となる50ドル台まで大幅上昇したことで、産油国通貨とされるカナダドルに買いが集まった。対米ドルでは一時1.2656カナダドル、対円では81.12円まで上昇した。ノルウェークローネは対ドルでは8.4589クローネ、対ユーロでは10.4047クローネ、対円では12.13円まで値を上げた。

「石油輸出国機構(OPEC)プラスは生産量を大方据え置くことで合意」「サウジアラビアは2月と3月に自主減産を計画」と伝わったことなどが原油高の背景。

【本日の東京為替見通し】ドル円、ジョージア州決選投票の開票報道に要注目か

本日の東京外国為替市場のドル円は、昨日実施されたジョージア州での米上院議員の決選投票の開票状況に注目する展開となる。

菅首相が明日7日に緊急事態宣言を発令すると報じられていることで、2021年1-3月期実質国内総生産がマイナス圏に落ち込む可能性が高まり、リスク回避の日本株売り、円買い圧力が強まりつつある。

昨日は、中国人民銀行が人民元の対ドル基準値を1ドル=6.4760元に引き上げたことで、ドル売り要因となっており、本日の基準値にも要注目となる。

昨日実施された米ジョージア州での上院議員選(2議席)の決選投票では、昨年の大統領選のように結果判明まで数日あるいは数週間かかる可能性があるとして報じられており、結果判明まではリスク回避の地合いが続く可能性に要警戒となる。約300万人の有権者が期日前投票を済ませており、昨日の投票と合わせて開票が進み、その後郵送投票の開票となると予想されている。現在共和党が50議席、民主党が48議席となっており、共和党が1議席以上確保した場合、ホワイトハウスはバイデン民主党大統領、上院は共和党多数派、下院は民主党多数派となり、昨年末のように、米上院共和党が2000ドルの個人給付増額案に反対したような構図が予想される。民主党が2議席を獲得して50議席となった場合、議長のアリソン・ハリス米副大統領の1票で民主党が多数派となり、ブルーウェーブ(ホワイトハウス・上下院を民主党が支配)となることで、バイデン次期米大統領は、2000ドルへの増額を示唆している。さらに、追加刺激策、法人税増税、規制強化などが予想されることで、ニューヨーク株式市場の下落懸念というリスク回避、財政出動による米10年債利回り上昇というドル高要因などが錯綜することになる。

ドル円のオーダー状況は、上値には、103.20円にドル売りオーダー、7日のNYカットオプション、103.30-40円に断続的にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、103.50-60円には断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、102.50-60円に断続的にドル買いオーダー、102.00円にドル買いオーダーが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○14:00 ◇ 12月消費動向調査（消費者態度指数 一般世帯、予想：32.4）

<海外>

- 10:45 ◎ 12月Caixin中国サービス部門購買担当者景気指数（PMI、予想：58.0）
- 16:45 ◇ 12月仏消費者物価指数（CPI）速報値（予想：前月比0.4%／前年比0.2%）
- 16:45 ◇ 12月仏消費者信頼感指数（予想：91）
- 17:50 ◎ 12月仏サービス部門PMI改定値（予想：49.2）
- 17:55 ◎ 12月独サービス部門PMI改定値（予想：47.7）
- 18:00 ◎ 12月ユーロ圏サービス部門PMI改定値（予想：47.3）
- 18:30 ◎ 12月英サービス部門PMI改定値（予想：49.9）
- 19:00 ◎ 11月ユーロ圏卸売物価指数（PPI、予想：前月比0.1%／前年比▲2.2%）
- 21:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数
- 22:00 ◎ 12月独消費者物価指数（CPI）速報値（予想：前月比0.6%／前年比▲0.2%）
- 22:15 ☆ 12月ADP全米雇用報告（予想：8.8万人）
- 23:00 ◎ ベイリー英中銀（BOE）総裁、講演
- 23:45 ◎ 12月米サービス部門PMI改定値（予想：55.2）
- 23:45 ◎ 12月米総合PMI改定値
- 24:00 ◎ 11月米製造業新規受注（予想：前月比0.7%）
- 7日 00:30 ◇ EIA週間在庫統計
- 7日 04:00 ☆ 米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨（12月15日－16日分）
- 米連邦議会が大統領選結果を承認
- ロシア（新年休暇）、スウェーデン（主顕祭）、ポーランド（三博士の日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

5日 08:04 メスター米クリーブランド連銀総裁
「金融政策は引き続き極めて緩和的である必要」
「コロナ感染拡大で短期的な見通しは弱い可能性」
「経済支援のために財政・金融政策が依然必要」
「金融政策は過去よりも緩和的である必要」
「物価 2% 目標を達成するまでより緩和的である必要」

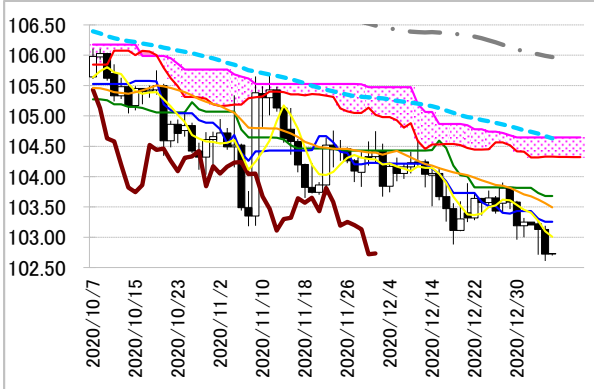
5日 16:25 ゴープ英内閣府担当相
「現行の新型コロナウイルスによる行動規制の期限 2 月 15 日には、その後の規制解除について議論」
「ワクチン接種のペースはここ数週で加速へ」

6日 02:08 ジョンソン英首相
「イングランドでは国民の 2%にあたる 100 万人以上の国民が感染している」
「人々はロックダウン以外の選択肢がないことを理解してほしい」

6日 05:47 エバンズ米シカゴ連銀総裁
「FRB の政策は長期間緩和的だろう」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

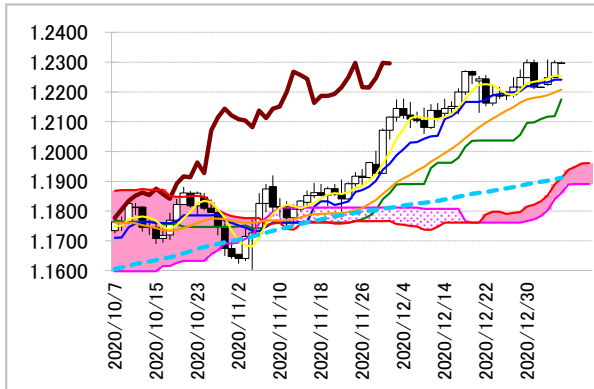


<ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。2手連続陰線で転換線を下回って引けており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	103.26(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	102.72
サポート 1	102.02(2020/3/10 安値)
サポート 2	101.19(2020/3/9 安値)

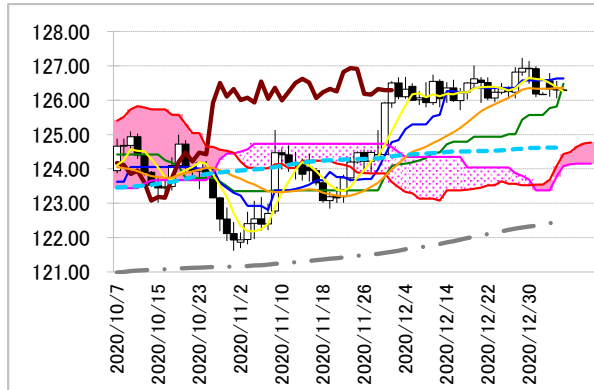


<ユーロドル＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2手連続陽線で転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されているものの、トリプル・トップ(1.2310ドル・1.2309ドル・1.2309ドル)の可能性に要警戒か。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.2310(2020/12/30 高値)
前日終値	1.2298
サポート 1	1.2241(日足一目均衡表・基準線)

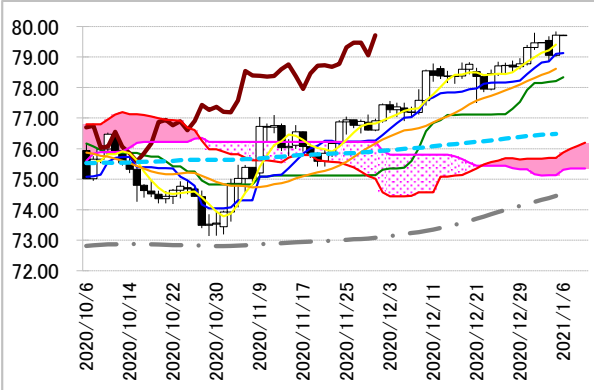


<ユーロ円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での4手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	126.63(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	126.29
サポート 1	125.79(2020/12/11 安値)



<豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。抱き線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	80.16(12/18-21 下落幅の上方倍返し)
前日終値	79.71
サポート 1	79.14(日足一目均衡表・転換線)

